



若鷹



令和7年度 《4月号》

学校目標:豊かな心を持ち、自ら考えて判断し、実践できるたくましい生徒

豊見城市立長嶺中学校

生徒会スローガン:当たり前のことほど真剣に、みんなが誇れる長嶺中

《発行者》 校長 新崎峰子

令和7年度スタート

4月10日、令和7年度が新2年生190名、新3年生202名、赴任式で19名の先生方を迎え職員59名で新年度スタートしました。

新学年度を迎えるにあたり、今年度長嶺中を「一人一人が笑顔で生き生きする学校にするためにみんなで努力し実践してほしいことを三つお話ししました。

一つ目に、「学習に向かう力」をつけてほしい。テストでいい点数を取ることだけでなく、1時間1時間の授業の課題を「なぜだろう、これはどうなっているのだろう」と疑問をもち仲間と対話をしながら学習してほしい。対話をする事で脳が活性化し深い学びにつながります。そして「できた、分かった」を増やしてほしい。

二つ目に、「当たり前のことほど真剣に」、例えば清掃、係活動など真剣に丁寧にやっているでしょうか。

今年度は、清掃、係活動を真剣に取り組んでほしいと思います。意識さえしないような「小さいこと」「当たり前のこと」を普段から真剣に取り組んでいけば、やがては自分の力と大きな信頼につながります。

三つ目に「他人に対して思いやりの心をもって接してほしい。」ということです。学校生活を明るく楽しく前向きに送るためには、お互いが思いやりの気持ちをもって接することが大切です。しかし、ある時、心ない一言で相手を傷つけ、一瞬で人間関係が崩れてしまうことがあります。それが原因で、学校に来れなくなることもあります。

「心は誰にも見えないけれど、思いやりは誰にでも見える」というフレーズを聞いたことがあるでしょうか。ぜひ、仲間や周りの人に対して、思いやりの心をもつ人となるよう、切に願っています。(途中省略)

そのために、先生方全員、全力でサポートします。

是非充実した1年間、1年後に自分は頑張ったといえるような学年にしてほしいと願います。(校長式辞)

決意！新たに代表挨拶



3年生 大城 菖 さん

昨年度は修学旅行やその他の行事を一致団結し楽しめたので今年度もその力を発揮して楽しい学校生活にしましょう。



2年生 築瀬 舜斗さん

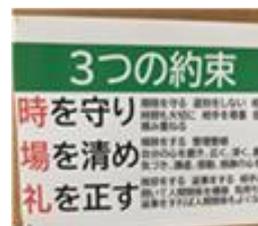
2年生で頑張りたいこと、1年での反省点を直すこと。計画的に学習すること。楽しくて思いやりのある学級、学年をつくり笑顔で過ごせる1年にしたい。



生徒会 新里 和功 さん

全校生徒でこれまで以上に「当たり前のことを真剣に」取り組み学校行事も全力で盛り上がり、私たちの力で良い長嶺中を作っていきましょう。

3 学年



2 学年



生徒会入会式・部活動紹介

生徒会活動や各種委員会について理解し、本校生徒会の一員としての自覚を高めることをねらいとして4月15日(火)6校時に生徒会入会式、部活動紹介が行われました。

1年生代表として金城 光さんが、長嶺中の一員としていろいろな行事や活動を一生懸命頑張りますと決意表明しました。



無くそう！ SNSトラブル

SNS を利用する際の注意点を確認し、トラブルを未然に防ぐための対応方法を学ぶねらいで、4月23日(水)5校時に沖縄県警本部サイバー犯罪対策課による SNS トラブル・サイバー犯罪被害防止教室が行われました。生徒代表して3年生の生活委員長の松川奈那美さんが、「インターネットの便利さだけでなく、その裏にある危険性についても知ることができてとても勉強になりました。今日の学びをこれからの生活にしっかり生かしていきたいと思います。」と感想を述べました。



命の大切講話～臓器移植～

講話のねらいである「自分や周りの大切さについて改めて考え、前向きに生きることをねらいとして臓器移植を受けた当事者である

野嵩正恒氏を招き4月30日(水)1校時に命の大切さ講話を実施しました。講話の後、生徒を代表して、3年の大城結菜さんが「臓器移植と



いう命をつなげることを通して、毎日何人もの人が亡くなり、毎日何人もの新しい命が誕生する。改めて「当たり前ではない命」に気づかされた。私は、「命のリレー」から考えることの意味は、友達と笑い合うことや部活ができること、家族と一緒に過ごせることだと思った。これからは自分の命はもちろん、家族や友達の個性を尊重したり、思いやりをもつなどして命を大切にしていきたい。



質問